

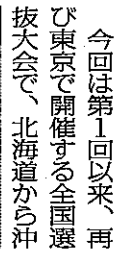
知つとく 掲示板

ト合 世代を超えて競いあう
ゲ一連
本一
日ボ

第29回全国選抜 ゲートボール大会

5月17・18日の両日に、福井県福井市で、約1100名の選手が参加した。今年第29回全国選抜ゲートボール大会が開催された。同大会は公益財団法人日本ゲートボール連合（以下JGU・小野清子会長）が主催する5つの全国大会の中でも最大規模のもの。

今回は第1回以来、再び東京で開催する全国選抜大会で、北海道から沖



開会式の様子

世代を超えて競いあう

若い力も健闘した

いるケースも出てきている。またJGUでは、ゲートボールの指導者の資質向上のための意識調査を行っており、昨年の8月に全国調査を実施した。その中で「ゲートボールの指導上で重要と思うことについて、理想と現実の違い」についてたずねたところ、「フェアプレーの重要性を頭で理解していても、実際には果たせない」などの様子がうかがえたり、「プレーヤーとして魅力的に人々を導く」など、指導者としての役割に期待が込められていた。



また、愛知県豊田市の根川小学校のように、地域の高齢者が結成した団体が指導にあたり、子どもたちと高齢者がゲートボールを通じて交流し、地域の活性化に役立っている。

者がある。それにより年齢が異なる選手が同じフィールドでプレーできるのがゲートボールの魅力である。選手が年齢を問わずにプレーできるのは、ゲートボールの大きな特徴である。選手が年齢を問わずにプレーできるのは、ゲートボールの大きな特徴である。

同好会や部活を通じて若い世代に広がるゲートボール

次世代プレーヤーの育成のため、学校にゲートボールを普及する活動と指導者を派遣したり、同好会や部活を創設して、中学校・高校から指定校を選んで支援する「指定校事業」を実施している。

ゲートボールの指導上、重要と思うことについて、理想と現実は？

